

「大田原市子育て世代包括支援センター」をご存じですか？

子育て世代包括支援センターとは？

初めての妊娠。うれしいけれど、わからないことだらけだと思います。
 「気分がすぐれなくて、生まれるまで頑張れるかな？」「おなかの赤ちゃんは、元気に育っているのかな？」
 「育児用品って、何をどれくらい、準備したらいいの？」「お産って、痛いつて聞くけど、頑張れるかな？」
 といった出産までの悩みはもちろん、「赤ちゃんがずっと寝てくれないので、自分も寝ることができずにつらかった。」「生まれる前は、何とかかなと思っていただけで、予想以上に大変だった。」など、出産後にも不安や悩みがたくさんあります。一生懸命やっても、思うようにならないことばかりで自分を責めるなど、ストレスがたまってしまうかもしれません。

そんなお母さんたちにぜひ、利用していただきたいのが「子育て世代包括支援センター」です。当センターでは、子育てコンシェルジュ（助産師）や保健師が相談に応じ、お母さんやお子さんの健康、子育てについての不安や悩みなど、さまざまな相談に対応します。

ひとりで抱え込まず、お気軽にご相談ください。

また、お父さんの育児も応援します。お父さんもお気軽にご相談ください。

たとえばこんな時、「子育てコンシェルジュ」にご相談ください

- 思いがけず妊娠したかもしれない
- 誰にも相談できずにいる
- 出産するかどうか迷っている
- 初めての妊娠・出産で不安



妊 娠 期



- 赤ちゃんがなかなか泣き止まない
- 赤ちゃんの成長が気になる
- 母乳やミルクは足りている？



子育て期① 赤ちゃんの様子



- 赤ちゃんの世話が上手にできない
- 子育てが楽しく思えない
- 子育てをされていて孤独を感じてしまう
- 身近に助けてくれる人がいない
- パパにも手伝って欲しいけど、どう伝えたらいい？
- イライラして子どもにあたってしまう
- 育児と仕事、両立できるかな…

子育て期② お母さんの様子



こんなサービスを行っています

産前産後サポート事業

妊娠中から生後4か月未満のお子さんがある方に対して、助産師が家庭訪問などを行い、妊娠や出産、赤ちゃんのお世話や授乳などのさまざまな悩みのほか、お母さんだけでなくお父さんの育児についても応援します。

養育支援ヘルパー派遣事業

妊娠中から生後4か月未満のお子さんのいる支援が必要な家庭に、ホームヘルパーを派遣して、家事援助、育児補助を行います。（利用には、条件や負担金があります。）

産後ケア事業

家族などから十分な家事や育児などの支援が受けられない方や、心身ともに休養が必要な方、産後に心身の不調や育児不安がある方に対して、病院などで日帰りや宿泊にて、お母さんの心身のケアや赤ちゃんのお世話の練習を含めた育児指導や育児サポートを行います。（利用には、条件や負担金があります。）

相談窓口はこちらです

妊娠期から子育て期までの、さまざまな質問や相談に対応する相談窓口です。子育てコンシェルジュや保健師が、安心して妊娠、出産、子育てができるようサポートします。

相談は無料ですので、少しでも困ったことがあれば、下記相談窓口にご連絡ください。

お気軽に
ご相談ください

相談窓口

子ども幸福課 本 3階 TEL (23) 8634

受付時間 月～金（年末年始、祝日を除く）午前8時30分～午後5時15分

コラム ～新型コロナウイルス感染症～ vol.6

【子どもの予防接種と乳幼児健診】

予防接種や乳幼児健診は、お子さんの健やかな成長のために一番必要な時期に受けていただくようお知らせをしています。お子さんの健康が気になるときだからこそ、予防接種と乳幼児健診は遅らせずに予定どおり受けましょう。

- ・ 予 防 接 種：予防接種のタイミングは、感染症にかかりやすい年齢などをもとに決められています。お子さんの体調のよい時に受けましょう。
- ・ 乳幼児健診：子どもの健康状態を定期的に確認し、相談する大切な機会です。適切な時期に乳幼児健診を受け、医師・保健師・栄養士などに相談しましょう。



予防接種は、一般の受診患者と別の時間で受けられる医療機関もあります。健診会場では、時間や場所に配慮し、換気や消毒を行うなど、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策に努めています。家に帰ったら、お子さん、保護者とも手洗いなどの感染対策をしっかり行いましょう。

参考：厚生労働省「遅らせないで！子どもの予防接種と乳幼児健診」

問 健康政策課 本 3階 「健康おたわら塾」では、さまざまな健康情報をお届けしています。
TEL (23) 7601 さらに詳しく知りたい方は、健康政策課へお問い合わせください。